

令和8年度長期高度人材育成コース 訓練生募集

※この訓練は、2月県議会の予算成立に基づき実施が決定します。

ITエンジニア養成科 (情報システムコース)

訓練期間
2年間

募集期間：令和8年1月14日（水）から2月27日（金）まで

訓練目標

ITに関する専門的な知識・技術を学び、関連する資格を取得し即戦力として活躍できる技術者を目指します。

訓練期間	令和8年4月11日(土)～令和10年3月4日(土) 2年間	
訓練時間	基本は9時30分～15時45分 ※学校行事の際は例外 ・訓練日程については、日本海情報ビジネス専門学校に準じます ・土日もしくは祝日に、授業が開講されることもあります	
訓練施設	日本海情報ビジネス専門学校 米子市道笑町2-227 電話(0859)22-2111	
応募対象者	※以下のすべてを満たす方 ①概ね25歳未満の方 ②学校教育法による高等学校もしくは中等教育学校(中高一貫校)を卒業した方 ③非正規雇用労働など、不安定就労の期間が長いことや、安定就労の経験が少ないとにより能力開発機会が乏しかった方又は出産・育児等により長期間離職していた方等。 ④公共職業安定所長に求職の申込を行い、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示が得られる方 ⑤訓練を修了し資格取得する明確な意思を有し、正社員就職を希望する方 ⑥公共職業安定所においてジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを受けた結果、当該訓練の受講が必要と認められる方 ※新規学卒未就職者は対象外 ※学卒未就学者であって、受講申し込み時点で学校卒業後1年以上経過していない方は対象外 ⑦過去に1年以上の公共職業訓練(委託訓練)を受講したことのない方	
募集人員	4名	
自己負担額	受講料	無料
	テキスト代	○1年次 43,000円 程度 ○2年次 28,000円 程度 ※2025年度実績 ※テキスト変更等により、金額の変更の可能性があります ※2年次のテキストは進級時に購入していただきます
		駐車場
	その他	駐車場はありません。希望の方には斡旋します。【1か月:5,000円～5,500円(税込)程度】
		・補助教材費、学校行事費、健康診断費、学生傷害保険料などの諸経費として、年間45,000円～60,000円程度が発生します。(※2025年度実績) ・検定試験受験料は実費でご負担いただきます。 ※詳しくは訓練施設へお問い合わせください
雇用保険等	○雇用保険受給資格者で一定の条件を満たしている方は、雇用保険等が給付延長(2年間)される場合があります。 【管轄の公共職業訓練安定所でお尋ねください】 ○鳥取県内在住で支給要件に該当される方に、訓練受講期間中は保育料等の半額(※上限額有り)を助成します。【予定】 ○日本海情報ビジネス専門学校の学生として、JR、バス等の交通機関を利用して通学する方には、通学定期及び学生割引が適用されます。 ○母子家庭の母又は父子家庭の父で、支給要件に該当される方は、高等職業訓練促進給付金が支給される場合があります。【県、各市及び福祉事務所設置町村でお尋ねください】	

IT の専門的な知識とスキルをしっかり習得。

プログラマーや SE、DX 推進人材を育成します。

社会の様々な環境において、AI（人工知能）の活用や自動化、DX（デジタルトランスフォーメーション）化の必要性が高まっており、ITに関する広い知識とスキルを持つ人材が求められています。

情報システムコースは長年の実績の中で培われたノウハウと学びやすいカリキュラムで、社会や企業に求められる「スペシャリスト」になるためにしっかり学ぶことが出来ます。



Java 言語によるプログラミングを通して IT スキルを伸ばす。

基礎から実践へとステップアップするから楽しく学べます。

Curriculum 01

プログラミング・開発演習

Java を中心にプログラミングを学習。2年次にはシステム開発などを実践的に取り組み、エンジニアになるためのスキルを習得します。

Curriculum 02

IoT 活用基礎・実習

Raspberry Pi・Linuxを中心とした IoT システム構築実習や AI 開発実習など、最新のテクノロジーを使用した学習に取り組み、より高度な IT スキルを習得します。



◎この訓練科は国の政策のもと、産業人材育成センター米子校と日本海情報ビジネス専門学校が共同で行う特別なプログラムです。産業人材育成センター米子校の訓練生であると同時に、日本海情報ビジネス専門学校の学生として位置づけられます。

◎日本海情報ビジネス専門学校「情報システムコース」への入学となります。

訓練受講に関して詳しくは、住居所を管轄する公共職業安定所へお問合せください。

米子公共職業安定所	(0859)33-3911	米子公共職業安定所根雨出張所	(0859)72-0065
倉吉公共職業安定所	(0858)23-8609	松江公共職業安定所安来出張所	(0854)22-2545
鳥取公共職業安定所	(0857)23-2021		

鳥取県立産業人材育成センター米子校	米子市夜見町3001-8 電話:(0859)24-0372 E-mail:sangyoujinzai-yonago@pref.tottori.lg.jp https://www.pref.tottori.lg.jp/sanjinseonyonago/	
日本海情報ビジネス専門学校	(代表)住所:米子市道笑町2-227 電話:(0859)22-2111	

IT エンジニア養成科（情報システムコース）訓練カリキュラム

区分		科目名	総訓練時間			教科の細目
			時間	1年次	2年次	
必修科目	情報系科目	情報処理Ⅰ	150	150		基礎情報技術者試験科目A対策（テクノロジ、ストラテジ、マネジメント）
		情報処理Ⅱ	100	100		基礎情報科目A対策演習、アルゴリズム、疑似言語
		情報処理Ⅲ	180	180		基礎情報技術者本試験対策演習、応用情報技術者試験基礎学習
		情報処理Ⅳ	25		25	情報処理試験対策（国家試験、他）
		プログラミング基礎	140	140		Java、プログラミング文法、演習
		Web制作基礎	65	65		HTML、CSS基礎知識、ホームページ制作演習
		ICT基礎	15	15		Officeアプリ利用基礎・演習
		ICT活用	20	20		サーバ基礎知識、Webサイト構築、DB操作
		ICT活用演習	250		250	IoT制御、生成AI、VRコンテンツ等基礎知識学習、演習
		システム開発演習	170		170	Webアプリ開発
必修科目	基礎教養科目	スマホアプリ開発	165		165	スマホアプリ手法、開発演習
		課題研究	50		50	卒業研究、探究的学習
		情報系科目合計	1330	670	660	
		数理基礎	30	30		SPI対策演習
		基礎教養Ⅰ	30	30		国語、数学、社会、理科などの基礎学習演習
		英会話	30	30		基礎文法、オーラルコミュニケーション
		ペン字	30	30		硬筆、ペン字
		就職ゼミ	30	30		就職活動に必要な知識、就職活動準備
		総合学習Ⅰ	60	60		今後の社会対応のための探求的思考力、横断的・総合的な学習
		LHRⅠ	50	50		学校行事、各種講演会、その他活動等
必修科目	基礎教養科目	基礎教養Ⅱ	25		25	国語、数学、社会、理科などの基礎学習演習
		総合学習Ⅱ	55		55	今後の社会対応のための探求的思考力、横断的・総合的な学習
		LHRⅡ	40		40	学校行事、各種講演会、その他活動等
		基礎教養科目合計	380	260	120	
合計訓練時間			1710	930	780	

選考日程

選考日時：令和8年3月13日（金）

選考場所：日本海情報ビジネス専門学校

選考方法：面接試験（日本海情報ビジネス専門学校と産業人材育成センター米子校で個別に実施します）

合格発表：令和8年3月19日（木）付で日本海情報ビジネス専門学校と産業人材育成センター米子校から、
それぞれ本人宛に文書で郵送します。

※ただし、職業訓練の対象となる方は産業人材育成センター米子校の合格者のみです。

入校日：令和8年4月11日（土）…日本海情報ビジネス専門学校 入学式

※産業人材育成センター米子校の入校式と日本海情報ビジネス専門学校の入学式は別で実施します。

応募方法

- ① 最寄りの公共職業安定所にご相談の上、**産業人材育成センター米子校の入校願書（写真貼付）**を提出・受付処理後、**2月27日（金）17時15分必着**で**産業人材育成センター米子校**へ提出して下さい。

※入校選考手数料は必要ありません

※持参の場合…受付時間：9時30分から17時15分までです。（土日・祝日を除く）

※郵送の場合…簡易書留で郵送してください。

●願書を提出後、スマートフォンまたはパソコンから事前アンケートに回答してください。

【回答期限】令和8年2月27日（金）まで

スマートフォンの方
(二次元コードからアクセス)



パソコンの方

- ① 検索サイトで **「とっとり電子申請サービス 検索** 
- ② 検索ワードに「ITエンジニア養成科（情報システムコース）」
を入力し、**絞り込みで検索する** 

- ② 日本海情報ビジネス専門学校出願書類一式は、各自が必要書類等を準備し、
2月27日（金）18時必着で日本海情報ビジネス専門学校に提出して下さい。

※選考料は必要ありません

※入学志願書（写真2枚貼付）には、余白部分に「長期高度人材育成コース」と追記してください。

※持参の場合…受付時間：9時から18時までです。（土日・祝日を除く）

※郵送の場合…専用封筒に入れ、速達書留扱いにて郵送してください。

★①②の両方の書類をご提出ください。①②の書類は公共職業安定所にあります。

取得が目指せる資格

分野	検定名称	受験料	
情報処理系	情報処理技術者試験	応用情報技術者試験	各¥7,500
		基本情報技術者試験	
		情報セキュリティマネジメント試験	
		ITパスポート試験	
情報処理系	情報検定（J検）情報システム試験	基本スキル	¥3,500
		プログラミングスキル	¥3,000
		システムデザインスキル	¥3,500
情報処理系	プログラミング能力検定（プロ級）	レベル3～6	¥3,300～ ¥8,800
		エキスパート	¥7,700
		スタンダード	¥6,100
ビジネス系	ビジネス能力検定	2級	¥4,200
		3級	¥3,000

◎ITエンジニア養成科の訓練生は、休学や留年は認められません。このため、留年が決定した場合は退校となります。
また、基本情報技術者試験に合格しない場合も退校となります。